

2016年度 決算ハイライト

(2016年12月31日現在)

2016年度より決算期を3月31日から12月31日に変更しました。

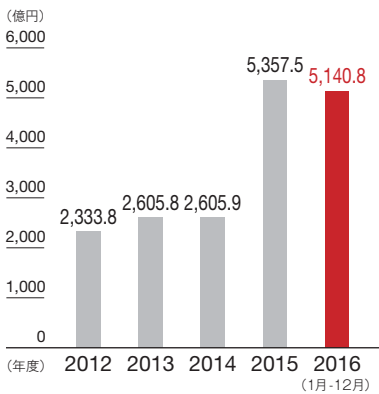
経過期間となる2016年度は開示上の連結対象期間が、当社ならびに3月決算の子会社については、2016年4月1日から2016年12月31日の9ヶ月間、12月決算の子会社については、従来どおり2016年1月1日から2016年12月31日の12ヶ月間となります。

なお、2016年度の実績について、事業の状況をより正しくご理解いただくために、一部を除き比較可能な数値として2016年1月1日から2016年12月31日までの12ヶ月間を対象期間とした場合の実績を記載しています。

なお、記載の数値は表示単位未満を四捨五入して表示しております。

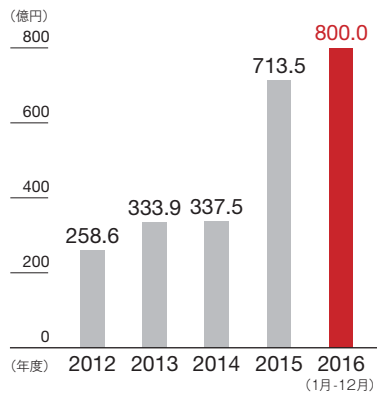
売上高

5,141 億円



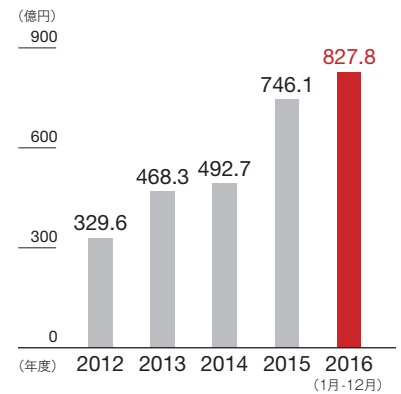
営業利益

800 億円



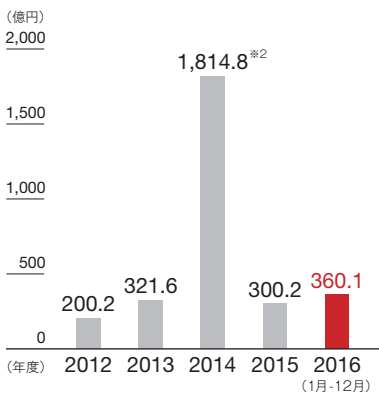
経常利益

828 億円



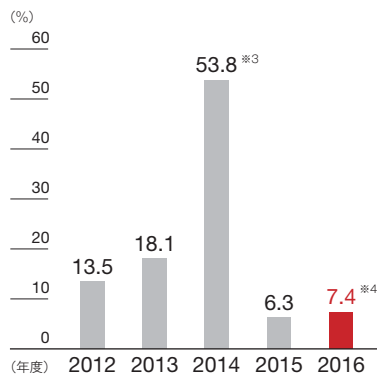
当期純利益^{※1}

360 億円



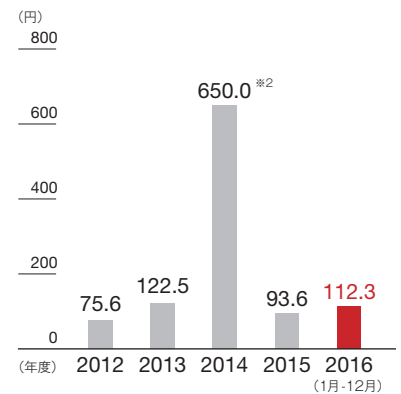
ROE

7.4%^{※4}



1株当たり純利益

112.3 円



連結業績推移

	2016(1月-12月)	2015	2014	2013	2012
売上高 (億円)	5,140.8	5,357.5	2,605.9	2,605.8	2,333.8
営業利益 (億円)	800.0	713.5	337.5	333.9	258.6
経常利益 (億円)	827.8	746.1	492.7	468.3	329.6
当期利益 ^{※1} (億円)	360.1	300.2	1,814.8 ^{※2}	321.6	200.2
ROE (%)	7.4 ^{※4}	6.3	53.8 ^{※3}	18.1	13.5

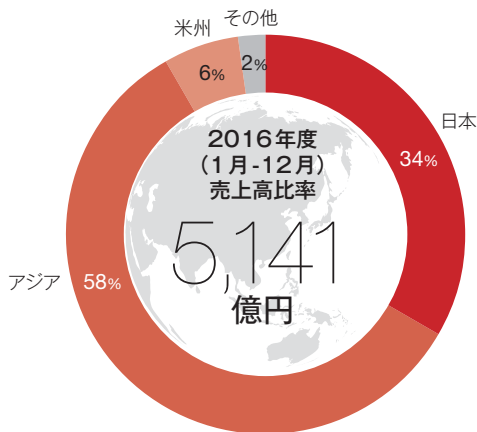
※1 親会社株主に帰属する当期純利益

※3 上記の特別利益を当期利益から控除した場合、ROEは9.7%

※2 2014年度第3四半期に、アジア持分法適用会社連結化にともなう特別利益(段階取得に係る差益)1,488億円を含む

※4 開示上の実績を記載(対象期間 日本:4月-12月、海外1月-12月)

地域セグメント別 連結業績推移

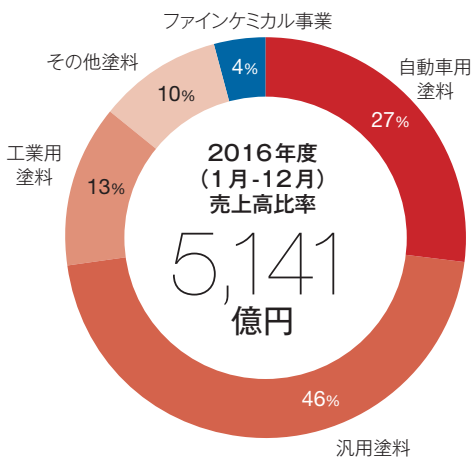


(単位: 億円)

		2016(1月-12月)	2015	2014	2013	2012
日本	売上高	1,716.1	1,742.8	1,872.0	1,874.8	1,745.2
	営業利益*	321.6	291.6	264.1	270.2	224.4
アジア	売上高	2,977.5	3,174.0	438.7	457.1	370.7
	営業利益	433.4	377.5	45.3	42.6	24.5
米州	売上高	321.7	331.6	257.9	235.5	191.4
	営業利益	51.5	51.8	26.9	19.8	9.2
その他	売上高	125.5	109.1	37.2	38.4	26.5
	営業利益	-3.7	-9.0	0.7	0.8	-0.8

※ 海外グループ会社からの配当を除く

事業部門別 連結売上高推移



(単位: 億円)

		2016(1月-12月)	2015	2014	2013	2012
自動車用	自動車用	1,393.8	1,387.6	933.5	925.1	812.9
	汎用	2,368.8	2,533.5	457.9	500.6	437.7
塗料事業	工業用	682.9	682.8	464.5	475.6	436.4
	その他	514.9	579.7	595.0	558.1	516.9
	塗料事業計	4,960.4	5,183.6	2,450.9	2,459.4	2,203.9
ファインケミカル事業	ファインケミカル事業	180.4	173.8	155.0	146.4	129.9
合計		5,140.8	5,357.5	2,605.9	2,605.8	2,333.8

投資その他

(単位: 億円)

	2016*	2015	2014	2013	2012
設備投資	210.2	190.3	51.3	59.8	51.1
減価償却費	135.5	161.8	59.0	61.1	64.2
研究開発費	120.4	151.8	59.9	59.2	60.2

※ 開示上の実績を記載(対象期間 日本: 4月-12月、海外 1月-12月)

連結キャッシュフロー推移

(単位: 億円)

	2016*	2015	2014	2013	2012
営業活動によるキャッシュフロー	779.2	631.0	344.2	269.2	318.5
投資活動によるキャッシュフロー	-427.0	-53.1	-869.7	-71.7	-69.2
財務活動によるキャッシュフロー	-85.8	-247.0	853.0	-210.3	-187.4

※ 開示上の実績を記載(対象期間 日本: 4月-12月、海外 1月-12月)

2016年度 決算ハイライト

2016年度の業績と会計年度の変更について

2016年度より決算期を3月31日から12月31日に変更しました。経過期間となる2016年度は開示上の連結対象期間が、当社ならびに3月決算の子会社については、2016年4月1日から2016年12月31日の9ヶ月間、12月決算の子会社については、従来どおり2016年1月1日から2016年12月31日の12ヶ月間となります。なお、2016年度の実績について、事業の状況をより正しくご理解いただくために、比較可能な数値として2016年1月1日から2016年12月31日までの12ヶ月間を対象期間とした場合の実績を記載しています。また、各セグメントにおける売上高の対比につきましては、2015年度(2015年4月1日から2016年3月31日)実績との比較を記載しています。

2016年度の業績について、連結売上高は5,141億円。利益面では高付加価値製品の拡販と継続した原価低減活動の成果などにより為替影響を吸収し、連結営業利益は800億円(利益率15.6%)、連結経常利益は828億円(利益率16.1%)、親会社株主に帰属する当期純利益は360億円(利益率7.0%)となり、収益性が着実に向上しました。

地域別の事業の動向と業績について

日本において、自動車用塗料は、生産台数が熊本地震の影響から回復するなかシェア拡大に努めました。工業用塗料は、新設住宅着工戸数が好調に推移するなか、差別化製品による顧客獲得に注力。汎用塗料は、天候要因による工事遅延の影響もあり市況が低調に推移するなか新製品の拡販など、販売促進活動を展開しま

した。一方、その他塗料については、その中心である船舶用塗料について市況悪化の影響を大きく受けました。これらにより、連結売上高は1,716億円と前年度をわずかに下回りました。営業利益は322億円となり、海外からの受取配当金を除くベースでは前年度を上回りました。

アジアにおいて、中国の自動車用塗料は、自動車生産台数が増加するなか、現地法人との協業によるシェア拡大を推進。汎用塗料は、中国の住宅内装用塗料分野で塗料販売店やリフォーム市場の活性化に注力。中国以外のアジア地域においてもシェア拡大に努めた結果、現地通貨ベースでの売上高は堅調に推移しました。為替換算の影響により円ベースでの売上高は2,978億円と前年度を下回りましたが、連結営業利益は、継続した原価低減活動の成果もあり433億円と収益性を大きく改善しました。

米州では、北米における自動車生産台数が好調を維持したことや、大型車種の比率が増加したことに加え、中南米における事業が本格化しました。一方で、為替換算の影響による減効果がありました。また、継続した原価低減活動の成果もあり、収益性が大幅に改善しました。その結果、売上高は322億円と前年度を下回りましたが、連結営業利益は52億円と前年度を上回り、現地通貨ベースでは増収増益となりました。

その他地域では、前年度からドイツの自動車用塗料メーカーを連結子会社化したことにもない、連結売上高は126億円と前年度を上回りました。連結営業損益はのれんの償却負担もあり、4億円の損失となりました。